

# 桜船会 だより

三菱電機大船地区定年退職者の会

第 31 号

発行日 2013.11.16

発行者 桜 船 会

発行責任者 萩原大義



切り絵作品：栗山時子（会員）

平成 25 年度総会、春の懇親会報告

いきいきライフ：私の宝物

いきいきライフ：私の写真

随想：大船の地を離れて

会社訪問：三菱電機照明株式会社

秋の旅行：富士山五合目と富士山麓周遊

事務局だより：HP 開設、同好会発足

会員動向、編集後記

事務局

栗山時子

前山紘一郎

岡 進

藤本孝信

行事班

市川洋子・木村允紀

編集班

桜船会も平成 5 年の設立以来 20 年の歳月を経て若者で言えば成人式にあたる「創立 20 周年記念式典」を挙行了しました。

気持ちを新たにして桜船会第 21 回総会が平成 25 年 5 月 26 日（日）に情報総研第 2 棟大会議室において開催されました。

慣例により司会者が議長を務めることを諮ったところ、挙手多数により承認され、木村幹事が議長を務めました。出席会員数 126 名、委任状 107 名で会員数の過半数に達し総会が成立したことが報告され議事進行も滞りなく終えることができました。

総会后、食堂にて春の懇親会が開催されました。



乾杯の音頭を米山晴義様から頂き、出席会員 136 名、来賓 10 名の賑やかな懇親会でした。



▲新会員のご挨拶（左）小澤 晃さんと（右）岡 進さん



私と観音さまとのご縁は平成 16 年（2004）の春に鎌倉へお花見に行った時でした。

北鎌倉駅に近い東慶寺の観音さまとの「出会い」で、説明をしてくださったお坊さんから鎌倉 33 観音札所めぐりがあることを教えていただきました。

案内図をいただき、早速「札所めぐり」を始めて満願達成の喜びを味わうことができました。

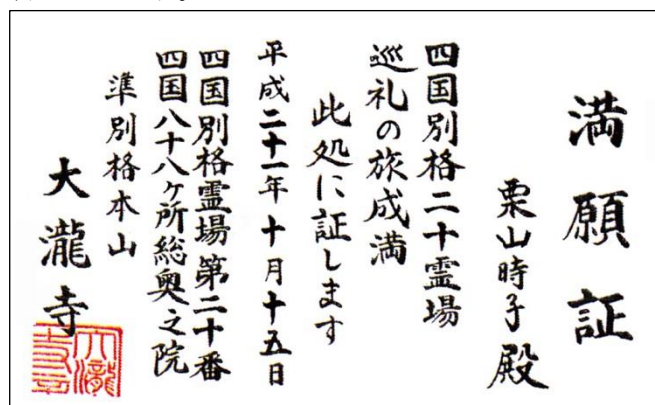
これがきっかけとなり、私のお遍路の旅が始まり「札所めぐり」の夢は大きく膨らんでまいりました。

### 「札所めぐり」

平成 16 年 鎌倉 33 観音札所めぐり  
 平成 16 年 江戸 33 観音札所めぐり  
 平成 17 年 坂東 33 観音札所めぐり  
 平成 18 年 秩父 33 観音札所めぐり  
 平成 19 年 西国 33 観音札所めぐり  
 平成 19 年 坂東 33 観音札所めぐり  
 平成 20 年 伊豆 88 観音札所めぐり  
 平成 21 年 四国 88（別格 20、計 108 満願）  
 平成 21 年 庄内 33（300 年記念ご開帳）  
 平成 21 年 最上 33（12 年に 1 度の子年ご開帳）  
 平成 21 年 京都 13 仏  
 平成 22 年 小豆島札所 88 めぐり  
 平成 22 年 比叡山 東塔 延暦寺 湖東三山  
 百済寺 金剛輪寺 西明寺 石馬寺

### 「満願証」

今、私の手元には西国四国をはじめ「札所めぐり」満願達成の結願証と写経を納経して、いただいた証書があります。



お遍路の旅は、晴れた日も、雨の日も、暑い日も、寒い日もありました。しかし、雨の日は雨として、

暑い日は、暑い日として受け止め淡々と清々しい心で歩くことができました。



▲巡礼姿の筆者

四国 88 の 32 番札所

八葉山禅師峰寺（土面観音菩薩）にて

### 「写経」

また写経を平成 18 年（2006）2 月に長谷寺で用紙をいただいて始めました。現在、般若心経を 1300 巻納経、浅草の観音経 400 巻の納経を終え、500 巻達成を目指しています。

平成 22 年（2011）3 月 11 日の東日本大地震の時  
 には、翌 12 日から震災でお亡くなりになられた多くの方々のご冥福を祈り写経を始め、浅草寺、長谷寺、総持寺へ納めにまいりましたところ、お坊さんから「こんな人はいない」と大変なお褒めの言葉をいただきました。今でも震災でお亡くなりになった人の写経をお収めしています。

般若心経を写経する時はとらわれない安らぎの心で、観音経を写経する時は、観音さまのご慈悲により皆さまのお幸せと世界平和を心に念じて書いております。

これからも、チャレンジ精神を忘れないで私の命の限り書き続けたいと思っています。 □□□



私の趣味は写真です。よい写真は撮れません。絵的センスがないため対象を真ん中に置く、俗に言う日の丸写真ばかりだからです。

写真を撮り始めたのは子供の記録をと考え最初の子供が生まれた時からです。その子供が今では36歳になりました。幼児のころはいろいろな表情や動きをしてくれるのですが大きくなると、いつも同じポーズばかりになり面白味がなくなります。

次に撮り始めたのが昆虫や野草です。撮りはじめの頃は、名前がわからず図鑑をそろえて「撮っては図鑑で調べる」の連続でした。中にはかわいそうな名前のももあり、ヘクソカズラなどがその例で花や葉を揉むと屁や糞の臭いがするためです。定年になり一年中写真が撮れるようになると、昆虫や野草では冬の間は被写体がなくなってしまいます。そこで次に撮りはじめたのが鳥の写真です。冬は落葉樹の葉が落ちるため、枝にとまっている鳥を見つけやすいからです。フィールドは家から歩いて行ける所で、約70種類の鳥を撮りました。珍しいのは鎌倉広町の自然公園で撮ったフクロウや柏尾川で撮ったアマサギやチョウサギなどです。

ここ4年はカワセミの写真を撮っています。家が柏尾川沿いにあり、カワセミは1年中見ることができ、いろいろな生態写真を撮ることができます。水辺で小魚など見つけダイビングして捕ります。たまにはホバーリングして飛び込むこともあります。捕った魚は頭から丸呑みします。骨や鱗の消化できないものは定期的にペリットとして吐き出します。春先は恋の季節で雄は捕った魚を雌が呑み込みやすいように頭を前にくわえ口渡しします。気が合えば番になります。雌と雄が協力して巣穴をほり、卵を孵しますが自分のフィールドでは見ることができません。ヒナが孵ると子育てになり雄と雌が交互に魚などを捕っては頭を前に巣へ持ち帰りヒナに口渡しをします。ヒナが巣立ちをすると餌の捕り方の教育実習です。最初は親が捕るところを見せ、捕った餌を

渡しますが、そのうち捕った餌をヒナのところに持っていくますが、渡さず自分で捕るように仕向けます。捕れるようになれば独り立ちです。この卵を産んで独り立ちまでを年3~4回繰り返すようです。

話を前に戻して、写真を撮ることが好きな私ですが特にシャッター音が好きです。

被写体を見つけ、カメラを向けてファインダーを覗き、シャッターを切ると「ガシャ」と音をたてて「希望の絵を切り取ったよ」とカメラが答えてくれるからです。カワセミにはまったのはカワセミの動きが速く、いろいろな状況を写すためには連射で撮ることが好ましく毎秒8コマで写しているため、たくさんのシャッター音を聞くことができることも理由のひとつです。

今までに撮った写真は数百万枚になると思います。がこれからも好きなシャッター音を聞くために続けていこうと思っています。□□□



はじめまして、岡 進です。今年3月までデザイン研究所（ID研）にいました。ただし絵が描けるデザイナーではなく、元々は技術系です。最初はINS大船工場というところに入り、その後、通シ研、情報総研、それから本社の開発本部業務部に移り、そして最後の4年はID研でした。

INS船の頃はしばらくテニス部に入り、船電の現場の方々とも親しくさせてもらいました。その多くの人は掛川に転勤となり、寂しくなりましたが、人事・組合主催のライフプラン50という集まりで久しぶりに会って、懐かしい思いをしたこともあります。一方MDライフ等、大船に残って働いておられる方々とたまに会うと、自分が大船の地で多くの方々に育てられたことを改めて思い起こします。昔の工場建屋がなくなっているの、一層です。

大船の町はなかなか再開発が進まず、古めかしいままですが、仲通りの活況、特に昼と夜とのあのギャップの大きさは何ともいえず良いものです。ただ、やたらとドラッグストアやパチンコ店、チェーンの居酒屋ばかりが増え、昔ながらの個性ある居酒屋、小料理屋さんが少なくなったことは寂しく感じます。そういえばキャバレーも多かった（よう）ですね。

この3月に三菱電機を退職しましたが、幸いなことに次の職場として三菱電機エンジニアリング（MEE）に勤務しています。ただしここで問題なのは通勤時間です。ID研の頃は、少なくとも朝は湘南町屋の自宅から30分程度かけ、歩いて会社に行くことが多かった。以前、本郷台に住んでいた時も情報総研まで歩いて25分。健康的でした。

今は湘南モノレール、東海道線、地下鉄を乗り継いで東京の九段下まで。1時間40分です。しかもそのほとんどは電車に乗っている時間で、歩くことが少なくなり、おかげで体重も3キロ増えました。

そこで5月から7月ぐらいまでは1つ手前の竹橋駅で降り、北の丸公園の中、武道館の横を通って九段下まで15分ほど歩きました。ところが今夏の暑さにはさすがに耐えられず、また電車通いです。

ただ、体重が増えたのは飲みに行く回数、特に日本酒の量が増えたことも原因かもしれません。なるべく週3回以内に押さえようとしているのですが…

MEEではe-ソリューション&サービス事業部というところにおり、各種ドキュメントの複写、冊子の制作、ホームページの作成、業務用ソフトの開発、タブレット端末を使った生産・営業の現場支援ツールの開発・事業化などを行っています。

三菱電機本社内を含めコピーセンターも有しており、そこで日々汗を流して働いている現場の方々とも接するようになり、昔、INS大船工場のラインや船電の方々と共にした日々を思い出したりします。ただし現場の人たちとの飲み会は恐ろしいものもありますが…

今、会社の私の事業部のイントラサイトに、私のブログコーナーがあります。

その例を4つ紹介します。

①先日、テレビで映画「ショコラ」を観た。フランスの田舎町を舞台に、チョコレート作りの流れ者の母娘と村人の葛藤、和解を描いた映画。実は10年前にも観たが、そのときの印象、感じ方とは何となく違った。映画や本、音楽の印象は、若いときとそれから何年か経ったときとは違う。自分の年齢や社会の変化が影響しているのであろうことを思えば、いつ見るの？今でしょう！

②朝の駅で電車を待っていると、何人か見覚えある人がいる。いつも電車が来る方向を見ながら怖い顔をしている偉そうなサラリーマン、垢抜けた服でカッコ良いのに、時々ゴルフのスイング練習しているアラフォーの男性、日経新聞を熱心に読んでいる50代（？）の女性。みんな何となく変な人だけど、私も同じように、変に見られているのだろうか。

③昨日の飲み会は10時半に無事帰還。気をつけた。というのは、おとといは八重洲で飲んでいたが、ふと気がつけば11時過ぎ。東海道線に飛び乗り何とか大船で降りた。一緒にいた茅ヶ崎の男性は、小田原まで乗り過ぎたらしい。先月の私のように。

④ある雑誌によれば、アフリカのライオンの死の原因の多くは、ライオンどうしの闘いによるものとか。縄張りとかメスの取り合い。なかなか厳しい世界。それにしてもウチのネコの何たる気楽さ。

ということで、日本酒に気をつけつつ、しばらく東京通いを続けます。（やはり焼酎に戻ろう） □□□

平成 25 年度の桜船会第 21 回総会で、三菱電機の「照明部門」が「大船」の地にもどり、「三菱電機照明株式会社」として再出発することになったと聞きました。桜船会のほとんどの会員には直ぐ解る話でしょうが、会員の出身場所によっては「どゆこと？」って感じで、ショールームの見学など、チョコッとお邪魔させていただきました。

1989 年に旧船電が分社化され、三菱電機の照明事業はオスラム・メルコ株式会社、三菱電機オスラム株式会社、三菱電機照明株式会社の三社で展開されることになりました。それから 23 年が経ち 2012 年 10 月に三社を統合、「三菱電機照明株式会社」として「大船」に本社を置いたという話です。が、経緯が解らない人は経緯を聞いても解りませんので新生「三菱電機照明株式会社」って「どうよ！」に関心が向くというところです。

今日のように激しく変化する環境のなかでは劇的な変化を自ら仕掛けなければ進化できず、淘汰されるというところです。新生、三菱電機照明の規模は資本金 37.9 億円従業員数約 1000 名で製造部門は掛川北／南工場に約 600 名、営業と開発部門は大船や首都圏支社（人形町）に約 400 名という布陣です。

分社後 23 年の歳月で、三社がどのような経験をしたのかは解りませんが、20 年という歳月では、世の中も変わります。技術は進歩し、人も世代が変わります。苦い経験もありましょうが「経験とはものごとを考える尺度のこと」と思えば、前進あるのみです。会社案内には「“ひかりの進化・やすらぎのあかり”の創造と提供を通じて、活力とゆとりにあふれた社会の実現に貢献します」と記されています。以前の標記は解りませんが、ひかり＝ハード、あかり＝ソフトと総合メーカーであることを主張しています。問題は、CI 上の「お飾り」でなく「本気」であることを社内外に浸透させることです。浸透するとは、ここで働く人々の内なるどこかに「誇り」が根付くことか？と勝手に思ったりしました。

「誇りって何よ？」ですが、なんだか古臭くて五感に触れることもありません。「私は誇りを持っている」と自分からいうことでもないし「誇り」は会社のトイレが舐めてもいいほどピカピカになるぐらい

で、大儲けできるわけではありません。しかし、一流が必ず「モッテル」もののひとつに数えられ「将来、どのような人間になりたいか」と問うだけで無料で手に入ります。「誇り」はドラッカー先生好みの「誠実さ」を含んでいて「より良きモノ」をつくるのに役立つようで「誠実さ」は会社が提供する商品の「姿・かたち」に端的に表れます。

新生、三菱電機照明は LED 関連商品群に「MILIE」と名付け「ミライエ」と読んで展開しています。Mitsubishi Lighting Ecology から構成され、カワイイ名前ですが根性が入ったもので日刊工業新聞のネーミング賞を受賞し「ヤルジャナイカ！」です。

「MILIE」は、進化させ未来に引き継がれるべき技術ですが単なる「ひかり」で、これをやすらぎの「あかり」に変換するのが「営業力」で既に、渋谷ヒカリエなど話題の施設への導入例があります。なかでも、心斎橋のユニクロ旗艦店ではビルまるごと「あかり」で包んだアートです。「コレって省エネ？」ってところですが、勇猛果敢がアートの身上ですから「まあ、いいか」です。新生、三菱電機照明株式会社は「どうよ？」ですが「橋頭堡」は確保したって感じでした。（楠井総務課長様に感謝）



取締役 技師長 村上勝男（上の写真：左）

三菱電機の LED 照明が、大きく強くなるよう日々頑張っています。統合パワーが加速度を与えています。期待してください。応援をお願いいたします。

執行役員 営業本部長 郡司正之（上の写真：右）

新しい光源（LED・有機 EL）で創造されつつある照明市場へ地球環境にやさしい省エネ性の高い商品と「あかり」の持っている“やすらぎ空間”を提供するよう頑張っています。 □□□

H25 年度秋の旅は世界文化遺産に指定された富士山を眺めるという日帰りバスツアーでした。

- 1) 行 先：富士山五合目と富士山麓周遊
- 2) 実施日：H25 年 9 月 26 日(木)
- 3) コース：情報総研 8:00→新富士 I C→富士山本宮浅間大社 10:30~11:00→本栖湖(車窓)→河口湖 BBQ(昼食) 12:30~13:50→スバルライン五合目 14:40~15:10→忍野八海 15:50~16:20＝情報総研 19:00



- 4) 参加者：42 名（内ご家族 4 名）
- 5) 天 気：晴れ時々曇り…台風 20 号も房総沖に外れて、まずまずの天候でした。

世界文化遺産に指定された富士山と山麓の本宮湧玉池と忍野八海の 2 つの湧水を見ることができました。昼食はバーベキューで河口湖近くの赤松林に囲まれた雰囲気超美味しかった。

富士山頂はバスの中から、雲間に一瞬見えたのですが、2305m の五合目では雲がかかり南アルプスの眺望を期待していたのですが 360 度景色は雲中となってしまったのが残念でした。

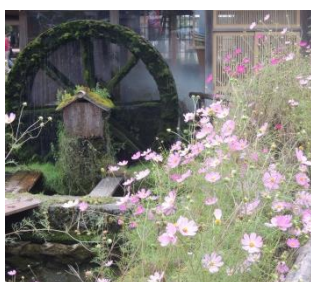
昔々に読んだ太宰治の作品に富士山のテッペンのは角度は 130 数度で、月見草が似合うなどと書かれていましたが、五合目付近からチラリと見えたその姿は荒涼として壁のように迫ってきます。山好きには一度は登っておきたい山だそうですが、普通のオジサンには登れるとは思えない急斜面に見えました。



▲富士山本宮浅間大社



▲河口湖 BBQ



▲忍野八海水車とコスモス、水に映る空 □□□

## ■桜船会のホームページを開設しました

パソコン、タブレット、スマートフォンから、ご覧いただけます。

アドレスは <http://www.ousenkai2013.com/>

事務局からの連絡や会員相互の情報交換、同好会の募集や報告などにも活用したいと思っていますので次のことをお願いいたします。

① “会員の広場” への投稿をお願いします。

簡単なコメントを付けた趣味の写真や近況報告など OB 会員の方々に知ってもらいたい事などをお寄せください。

② ご自身で作成しているホームページのアドレスをお知らせください。リンク集に記載して OB 会員の方々に PR いたします。

①②とも宛先は [ousenkai@yahoo.co.jp](mailto:ousenkai@yahoo.co.jp) です。

## ■同好会発足いたします

このたび、桜船会では、ホームページにも簡単にご紹介しましたが、同好会を開設することにしました。同じ趣味をお持ちの会員の方々が集まり、楽しい時間を過ごせる同好会を作っていただき、桜船会が各同窓会を支援していきたいと思えます。

ちなみに、近隣の OB 会では、「囲碁」、「ハイキング」、「写真」、「ゴルフ」、「テニス」、「カラオケ」、「コントラクトブリッジ」、「旅行」など、各会 15～45 名ほどの会員で多彩に活動されているそうです。

まず、私ども桜船会としましては「ハイキング同好会」を立ち上げることとしました。

お花見、新緑、紅葉などの時期に箱根や丹沢、湯河原などの地域をメンバーの皆様と散策したいという方は是非ともご参加ください。

また、いろいろな趣味をお持ちで、ぜひとも同好会を立ち上げたいという方も、ご遠慮なくご連絡ください。同好の方をお誘いいただいても結構ですし、まずは、立ち上げて同好の会員を募りたい、という方もご連絡ください。会員の募集につきましては桜船会ホームページにて実施します。

同好会の立ち上げ、および運営につきましては、当面、次のようなルールで行いたいと思えます。

\*メンバーは各同好会 5 名以上

\*メンバーは桜船会の会員に限る。

\*各同好会には、年間 1 万円を補助する。

\*各同好会は 1 年に一度、活動報告を会報に掲載する。

\*活動場所として、好日荘、体育館を利用できるようにする。

\*将来的には同好会交流会などの開催も検討する。

◎「ハイキング同好会」入会連絡先

富山勝巳 [tomiya@ab.auone-net.jp](mailto:tomiya@ab.auone-net.jp)

◎同好会立ち上げ希望連絡先

木村允紀 [kimura.m@tbm.t-com.ne.jp](mailto:kimura.m@tbm.t-com.ne.jp)

## ■会員動向 314 名 (2013.10.10 現在) 敬称略

入会会員：三宅 真、金田敏雄、

退会会員：佐藤融弘、宮本護之、西形忠一  
山崎 肇

物故会員：橘 為広、西 信、櫻木章恵  
近藤勝勇

(2013.05～)

謹んでご冥福をお祈りいたします。

## ■編集後記

今号の表紙は栗山時子（会員）さんの切り絵作品を使わせていただきました。会員の皆さまが趣味で描いた絵画のほか、写真、陶芸、野菜づくりなども作品として紹介しながら、使わせていただきたいと思います。

桜船会のホームページが開設されました。「桜船会だより」は、これからも発行しますが、页数や内容などの見直し時期かと思えます。ご意見やアイデアありましたらお知らせください。（藤本孝信）

原

稿

募

集

編集責任者 藤本孝信

編集委員 木村允紀

桜井貫智

佐藤秋雄

印刷所（株）さんこうどう